

PSC Report

パートナーシップ・
サポートセンター

Vol.99



発行 特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
〒464-0067 名古屋市千種区池下1丁目11番21号
サンコート池下2F
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp
発行人・岸田真代

Vol.99発行にあたって

あけましておめでとうございます。2015年が始まりました。昨年もパートナーシップ・サポートセンターの様々な取り組みにご賛同、ご参加いただき、ありがとうございました。

2014年は、私たちにとって2013年に続く挑戦の年となりました。これまでPSCが培ってきた経験と蓄積されたデータとともに強み・弱みと真摯に向き合い、激動の社会におけるPSCの存在意義とは何かを問い直し、事業や事務局体制の見直しを図ってまいりました。

折しも愛知県では「協働ルールブック2004」から10年。社会の様々な課題やニーズに対応していくためには、NPOや行政、企業、大学等が果たす役割が重要と考えられるようになり、こうした多様な主体との一層の連携や協働がますます求められるようになってきています。

「第11回日本パートナーシップ大賞」も新しいパートナーとして認定特定非営利活動法人日本NPOセンターとの二人三脚で新しい仕組みを構築し、全国の中間支援センターのご協力のもと、この2月20日に最終審査・表彰式が東京で開催されます。現在、事務局ではその本番に向けての準備に走り回っています。皆さま、2月20日は東京でお会いしましょう。

2015年もよろしくお願いたします。皆さまにとりましてもあり多い年となりますようにお祈りいたします！

2015年元旦

特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター
事務局スタッフ一同



第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト

最優秀賞は、母力向上委員会の
「"ママたちの声"から生みだす！
コンビニ発の子育支援事業」に決定

冷たい雨となった12月16日(火)、名古屋商工会議所2階ホールにて、中部圏社会経済研究所との協働で、「第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト 最終選考会」を開催しました。ご来場いただきました皆さま、ありがとうございました。

最終プレゼンテーションに挑んだ5つのアイデアの中から、最優秀賞に選ばれたのは、静岡県富士宮市の母力向上委員会の「"ママたちの声"から生みだす！コンビニ発の子育支援事業」。ママたちの生の声を元に、子育てに便利で優しい商品開発と、生活の中でも最も身近なコンビニとを結びつけたアイデアは、5名の審査員と会場参加者の共感を呼びました。

惜しくも最優秀賞を逃した団体からも、それぞれの想いとアイデアがたくさん詰まった事業提案を披露いただきました。プレゼンテーション後の質疑応答では、企業に求める具体的役割や、アプローチ法、事業収支は？などの質問が活発に飛び交いました。

ぜひこのアイデアの実現を目指し、活動を継続・発展されまよう期待しています。(山崎)



第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト

ミニ講演会&交流会

プレゼンテーション終了後は、(株)真誠CSR委員会の岸川晴氏、吉川裕隆氏によるミニ講演「NPOとの協働事業「ごまんえつプロジェクト」で見えてきた意義」として、CSRの取組をお話いただきました。

(株)真誠は北名古屋市にあるごま製品などの食品を扱う製造販売会社。社会貢献活動を模索する中、2011年にPSCの企画・運営によるステークホルダー・ダイアログを行ったことがきっかけで、CSRに取り組み始めました。その後CSR委員会を設置し、NPOとの初めての協働事業「ごまんえつプロジェクト」で、ママチームを結成し、新製品を開発。「企業の目的は利益だけでなく、地域や社会と共生すること」「以前はCSRをボランティア・寄付とらえていたが、大切な経営戦略にもなりうる」など、「企業では社会貢献と利益が結びつかないと、CSR推進にはつながりにくいことを実感した」と話されました。



場所を名商グリルに移しての交流会&表彰式は、中部圏社会経済研究所 沢井常務の乾杯の音頭で始まりました。発表者や審査員らも交え、企業・NPO・行政の方々が出会える場所として、あちこちで名刺交換などをする姿が。しばし賑やかな歓談が続いた後、各賞の発表と表彰が行われました。(山崎)



各賞は以下の通り。

最優秀賞

母力向上委員会(静岡県富士宮市)

『“ママたちの声”から生みだす!コンビニ発の子育支援事業』
子育て世代には「コンビニ」が「便利」と言い切れない現状から、“ママたちの生の声”を元に、紙オムツをはじめとしたオリジナル商品やサービスの開発。コンビニにおける「ベビー・ステーション」としての機能を全国展開する。

最優秀賞受賞者コメント

(母力向上委員会 マーケティング部部長 中村鈴鹿さん)

一次選考通過後、マーケティング部でチームを作り子育て・仕事の合間をぬって懸命にプレゼンへ備えてきました。私たちの声を社会に届ける機会が得られたこと、努力と協力でこの賞を頂けたことがすごく嬉しいです!ここからはアイデアが形になることを目指します。ぜひ協力を!どうぞよろしくお願ひします。



優秀賞

特定非営利活動法人 子ども&まちネット(愛知県名古屋市)
『Say(セイ)(性)Yes(イエス)!「愛と性」の教材及びマニュアルづくり事業』

障がい児者が思春期の体や心の変化を正しく学ぶ機会は少ない。教育・医療関係者や保護者、障がい児者福祉サービス事業所職員らが、彼らの発達に応じて教えられるように、教材やマニュアルを協働で開発・作成する。

特別賞

特定非営利活動法人 スパ・ランカ協会(愛知県春日井市)
『循環型農園でのカシューナッツシェルオイルの共同開発事業』
スリランカの人々の経済的自立を支援するため、カシューナッツ農園で廃棄される殻から、ALS治療や健康面で期待されるシェルオイルの製品開発を協働で行い、日本へフェアトレードする。他の派生商品の開発の可能性も探る。

奨励賞

ツアーガイド フォレスタ (愛知県名古屋市)
『図鑑を持って出かけよう。~「図鑑」を通じた社会教育事業』
書籍販売者とネイチャーガイドが連携して、「図鑑」を通じて「知識」と本物に触れる「実体験」をつなぐ社会教育プログラム・イベントを企画・実施する。豊かな人間性を形成する機会と地域コミュニティの創出を図る。

奨励賞

一般社団法人 チャレンジ(愛知県名古屋市)
『どうぶつワクワクプロジェクト』

障がい者就労継続支援A型事業所利用者の手で、動物や飼育員の視点を取り入れた動物園紹介DVDを製作。園内で販売することにより、来場者の増加につなげ、そのシリーズ化により、A型事業所利用者の継続的な就労支援を図る。

審査員講評 PSC監事 面高俊文

アイデアを出して協働のパートナーを見つけるこのコンテスト。ここでの協働アイデアを企業と実現させ、パートナーシップ大賞のグランプリを獲得した団体もあり、成長を感じます。NPOが自分たちの強みを把握し、また弱みを理解し、そこを補ってくれる企業にどれだけ発信しているか、訴えているか、それが協働を実現するポイントになると思います。今回は女性躍進、社会的弱者など、“人”にまつわる提案が多かった。アイデアを実現して、どんどん社会課題を解決していただきたいと思います。期待しています。



特定非営利活動法人 子ども&まちネット



特定非営利活動法人 スパ・ランカ協会



ツアーガイド フォレスタ



一般社団法人 チャレンジ

安城市

「まちづくり人(びと)養成講座(中級編)」 終了しました!

安城市職員向け市民協働研修

8月から全5回シリーズで開催してきた本講座。市民協働によるまちづくりに関心のある市民と市職員が、同じテーブルに着き、まちづくりの担い手となり、協働の推進者として実践的なスキルを習得するための、内容の濃い講座となりました。

4回目の10月26日(木)は、実際の協働事例からまちづくり人(びと)＝協働コーディネーターの役割等を見つけるために、日本パートナーシップ大賞の入賞事例を分析して、事前に提出していただきました。この日は、それぞれが選んだ事例の成功要因・失敗要因や改善策、新たな提案などを事例ごとにグループで話し合い、発表しました。

最終回の11月24日(月・祝)は、これまでの講座をふまえ、受講者一人ひとりが作成した、まちづくり人(びと)＝協働コーディネーターとしての「マッチングマニュアル」と、それぞれが踏み出す第一歩についての「所信表明」をプレゼンしました。プレゼンを聞く中、受講者間で「ぜひ、うちと協働しましょう」と活発な発言も出され、新しい協働の芽もちらほら…。今後の発展にも期待できそうです。受講された皆さま、4ヶ月間お疲れ様でした!!

本講座を修了された方々は、このあと安城市が立ち上げる「協働サポータークラブ」の協働サポーターに登録し、まちづくりの様々なシーンで活躍の予定です。(水野)



CSOラーニング制度愛知地区の 11月定例会をPSCで開催しました!

CSOラーニング

定例会は、各団体の活動報告、PSC根本さんからのお話、3月のCSOラーニング制度修了式で発表するプレゼンのテーマのディスカッションを行いました。愛知地区のラーニング生は「協働」にとっても関心を持っているということで、プレゼンのテーマも「NPOの強み・弱みから考える協働」となりました。今回の定例会で学んだことを十分に活用していきたいです。今回、私は幹事を務めました。ラーニング生から、「とても充実した定例会だった」という声を聞くことができ、とても嬉しく感じました。定例会を開催するに当たって、ご協力いただいた職員の皆さんに感謝しております。

(インターン岡田)



～ 県有地の活用に市民のアイデアを活かす～

岸田代表が勉強会講師やシンポジウムコーディネーターとして携わった「高森台県有地の活用を提案する市民の会」より、活動紹介をお寄せいただきました。*****

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンには約8万㎡の広さを持つ「高森台県有地」があります。長い間放置され続けていましたが、高齢者福祉施設が建設されることになり、一昨年その説明会がありました。説明によると施設の敷地面積は1万㎡弱だけで、残り7万㎡には具体的な計画がないことがわかりました。

そこで、市民有志が集まって、この県有地の活用を考える「市民の会」が生まれました。早速市民にどのような利用活用が望ましいかアンケートを実施し、その結果を大型模型にまとめて発表。積極的に市民対象の展示会を開きました。

一方、県や春日井市などの行政にも説明に向きました。「行政と市民・民間」との協働なくして、このプロジェクトを前進させることはできません。現在、基礎的な市民協働についての勉強会を開き、幅広い方々に呼びかけて次のステップに繋げる努力をしています。(寺島靖夫代表)



明治製菓お菓子の寄贈 子どもたちへ、お菓子のXmasプレゼント!

2009年から日本NPOセンター(東京)からの依頼で、明治ホールディングスのお菓子の寄贈先をご紹介します。対象は「障害のある子どもたちを対象とした活動を実施されている団体」「東日本大震災による広域避難者(県外への避難者)の支援をしている団体」です。

今年は、(N)S-tep、(N)ORR社会貢献センター、(N)ほがら企画の3団体にお菓子が贈られ、12月4日(木)、ご挨拶をかねてと、S-tepの小山さんと鷹巣さんがお菓子を取りに来て下さいました。クリスマス会やサンタさんに扮して子どもたちに配られたそうです。(山崎)



「セクターを超えた、主体的参加と有機的連携」とは? 「市民セクター全国会議2014」に参加

11/21、22に東京で開催された「市民セクター全国会議2014」(日本NPOセンター主催)。子どもの貧困など4分野から取り組むべき社会課題が提起され、法人格や種類の違う市民セクターの課題意識やビジョンを共有しました。そのうえで今後15年のセクターを超えた有機的連携の在り方を検討。自分たちだけではできないからこそ「連携が必要」と。自己完結できることより、一歩その先をちょっと無理してパートナーシップでやっとうと、わくわくするお話がありました。

2日目は、4つのセッションと、10のセミナーが行われ「連携・協働」について学ぶ濃厚な二日間でした。(山崎)

PSC 主な活動2014年11月～12月

11/1(土)	P賞現地取材調査開始～(12月末まで)
11/4(火)	定例事務局MTG、第4回理事会
11/5(水)	SAVE JAPANプロジェクト来年度説明会(大阪)
11/19(水)	真誠CSR委員会⑳、SV会議、 ボタンCafé運営会議
11/21(金)	市民セクター全国会議2014(キーノート・交流会)(東京・参加)
11/22(土)	市民セクター全国会議2014(セミナー)(東京・参加)、
11/24(月)	安城市まちづくり人(びと)養成講座中級編⑤
11/26(水)	カフェ・アイリス運営会議、名古屋市条例指定NPO法人制度を考えるシンポジウム(参加)
11/29(土)	春日井市民の会勉強会②
12/1(月)	定例事務局MTG
12/2(火)	アイデアコンテスト会場下見
12/4(木)	S-Tep来所(明治製菓お菓子の寄贈)
12/5(金)	愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議③
12/10(水)	小規模多機能自治を推進する東海ブロック円卓会議(参加)
12/12(金)	実践☆協働術(参加)
12/13(土)	名古屋市イーパーツリユースPC寄贈プログラム 寄贈式
12/16(火)	第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト最終選考会&表彰式
12/17(水)	豊明市協働推進委員会(一宮市市民活動推進センター視察)、SV会議、カフェ・アイリス運営会議
12/25(木)	ボタンCafé運営会議
12/27(土)	年末年始休暇(～1/4(日))

公式勉強会&検定試験 お早目にお申し込みを!

新CSR検定

前回のPSCレポートでもご案内しました「新CSR検定(3級)」の勉強会、1月からいよいよスタートします!社会人の方ももちろん、これから社会に出る学生さんにもぜひ学んでいただきたい内容が詰まっています。

勉強会は1月27日(火)、2月6日(金)、2月27日(金)の全3回(時間は19:00～20:30、場所は名古屋駅近く、定員40名)。第1回の講師は、東京から森摂氏(株)オルタナ編集長)、第2回・第3回は岸田真代(PSC代表理事、新CSR検定3級公式テキスト執筆者)の予定です。

以前にご案内した公式テキストに沿って「CSRの歴史と社会的背景」「社会の中での企業の役割」「社会や地域と共に働くということ」や、CSRを理解するための必須キーワードについてしっかりと学んでいただけます。

【新CSR検定(3級)の試験への申し込み受付が始まりました!】

試験日:2015年3月8日(日)10:30～(80分間)

会場:愛知学院大学名城公園キャンパス
キャスルタワー1202教室

受験料:4000円(税別)

*団体受験は3500円、中・高・大学生は3000円

現在、申し込みが続々と届いています。新CSR検定(3級)の受験をきっかけに、CSRとは何かを理解し、社会のなかでの企業の役割について考えてみませんか?詳細はHPをご覧ください!(松橋)

PSC PICK UP! **ピックアップ**

第11回日本パートナーシップ大賞 最終審査・表彰式 「あなたが選ぶグランプリ」に1票を!

第11回日本パートナーシップ大賞は、2014年10月28日(火)に一次審査会が行われ、二次審査に進む9事業が決定しました。現在、二次審査のための現地取材調査が、全国各地で行われています。このあと、1月24日(土)二次審査にて最終審査に進む事業が決定します!

【第11回日本パートナーシップ大賞 最終審査・表彰式】

日時:2015年2月20日(金)14:00～18:00

会場:損保ジャパン日本興亜本社ビル

2階大会議室(東京・新宿)

「今、最も“旬”なNPOと企業の協働事例を発表!」と銘打ち、二次審査を通過した協働事業の最終プレゼンテーションが行われます。

また、会場では「入賞NPO/企業との対話コーナー～協働のキーパーソンに聞く!～」を開催。最終プレゼンに挑んだ協働事業のキーパーソンと来場者の方々との対話コーナーを設けます。皆様のご参加をお待ちしています!

クラウドファンディング始めます!

第11回日本パートナーシップ大賞では、継続的な事業運営を目指して、多くの取組みに挑戦しておりますが、今回、初めてクラウドファンディングによるご寄付を募ることとなりました。詳細は改めてお知らせさせていただきます!

PSCもブース出展します!

「これからの協働を考えるフォーラム」愛知県

多様な主体との一層の連携や協働に向けて、「これからの協働を考えるフォーラム」が開催されます。詳細は愛知県HP(<http://www.pref.aichi.jp/0000078035.html>)をご覧ください。日時:2015年1月21日(水)13:00～18:00(受付開始12:15～)会場:ウィルあいち 大会議室ほか *参加無料

1. 全大会(13:00～14:20)
2. 分科会①～④(14:30～16:30)
3. 交流会(16:30～18:00)

主催:愛知県

企画:NPOと行政の協働に関する実務者会議